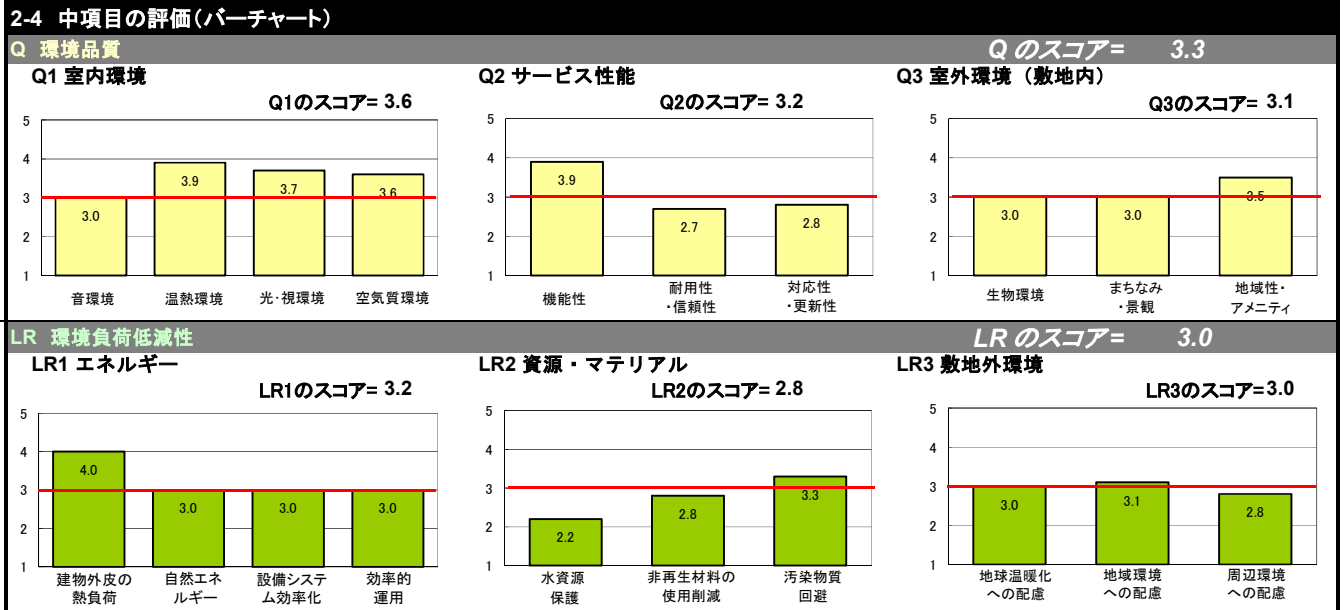
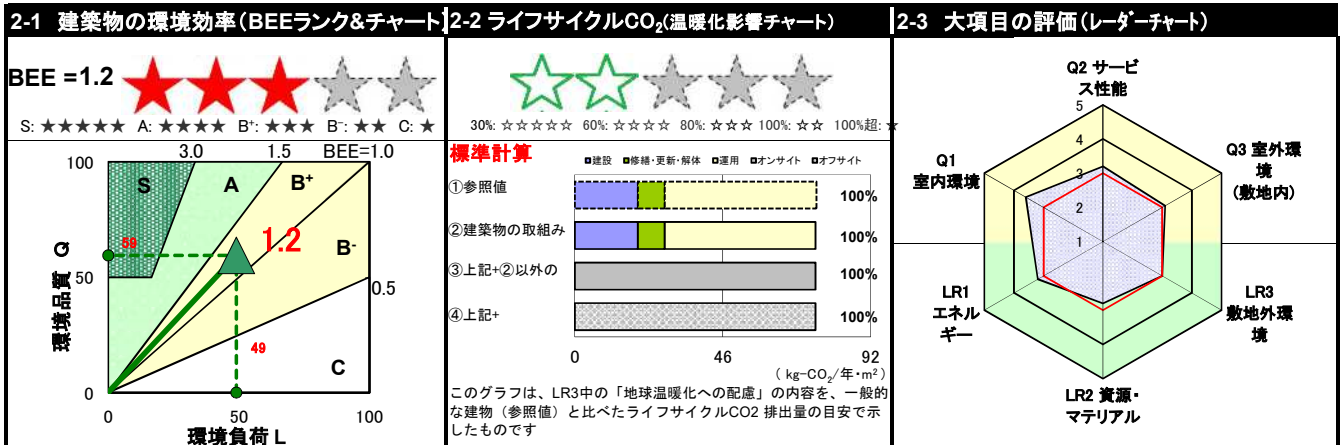


川崎市建築物環境配慮制度受付番号 21010

建築物名称	クレストプライムレジデンスパーク五番街
建築主	株式会社ゴールドクレスト 常務取締役 伊藤 正樹
建築物の所在地	川崎市幸区新小倉545-52、545-53、545-54、545-55 545-80、545-81、545-82、545-85
設計者氏名、建築士事務所名	木村 哲玖 株式会社日建ハウジングシステム 一級建築士事務所
工事種別	新築
床面積の合計	25,468.38㎡
用途	共同住宅
構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
階数	地上15階、地下1階
工事完了年月	令和6年3月
自然エネルギーの利用 (利用を検討した自然エネルギーの種類)	太陽光発電、太陽熱利用
自然エネルギーの利用 (利用を決めた自然エネルギーの種類)	太陽光発電

## 評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	クレストプライムレジデンスパーク五番街	階数	地上15F地下1F
建設地	川崎市宮前区小島4-52, 545-53, 545-54, 545-55, 545-56, 545-57, 545-58, 545-59, 545-60, 545-61, 545-62, 545-63	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	1,300 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 竣工	評価の実施日	2021年6月1日
敷地面積	7,265 m <sup>2</sup>	作成者	土橋泉、及川清弘
建築面積	2,440 m <sup>2</sup>	確認日	2021年6月8日
延床面積	25,468 m <sup>2</sup>	確認者	木村哲玖
		外観パース等 パースの公表を希望される場合は 図を貼り付けてください	



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目についての環境配慮概要		実績重点項目スコア 合計/ 重点項目最高のスコア合計	重点項目への 貢献点 注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
<b>緑の保全・回復(G)</b>		<b>Gの平均点</b>	<b>3.1</b>
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物環境の保全と創出 2 まちなみ・景観への配慮 3 敷地内温熱環境の向上	川崎市緑化指針の緑化率を5%上回る計画とした 川崎市景観計画の即した計画とした 空地率を69.8%とした	2.7/4.3	3.2
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善	隣棟間隔指数を0.53とした	0.5/0.8	3.0
<b>地球温暖化防止対策の推進(W)</b>		<b>Wの平均点</b>	<b>3.2</b>
Q-1 ■ 室内環境対策 2 2.1 2.1.2 外皮性能 3 3.1 3.1.3 昼光利用設備 3.2 3.2.1 昼光制御	住宅は、カーテン及び庇状のもの(廊下、バルコニー、等)により昼光制御	5.3/7.3	3.6
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物環境の保全と創出 3 敷地内温熱環境の向上	川崎市緑化指針の緑化率を5%上回る計画とした 空地率を69.8%とした	1.5/2.3	3.3
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物外皮の熱負荷抑制 2 自然エネルギーの利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	エコジョーズを採用	3.2/5.0	3.2
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 1 水資源保護 2 非再生性資源の使用量削減 3 2.3 フロン・ハロンの回避	LGS工法を採用し、躯体と仕上げの分離を容易にした	2.5/4.7	2.7
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善	隣棟間隔指数を0.53とした	0.5/0.8	3.0
<b>資源の有効利用による循環型地域社会の形成(R)</b>		<b>Rの平均点</b>	<b>2.7</b>
Q-2 ■ サービス性能対策 2 2.2 部品・部材の耐用年数		0.2/0.5	2.7
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 1 水資源保護 2 非再生性資源の使用量削減		2.1/4.0	2.7
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.3 地域インフラへの負荷抑制	雨水の流出抑制を対策している	0.3/0.4	4.1
<b>ヒートアイランド現象の緩和(H)</b>		<b>Hの平均点</b>	<b>3.2</b>
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物環境の保全と創出 3 敷地内温熱環境の向上	川崎市緑化指針の緑化率を5%上回る計画とした 空地率を69.8%とした	1.5/2.3	3.3
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物外皮の熱負荷抑制 2 自然エネルギーの利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	エコジョーズを採用	3.2/5.0	3.2
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善	隣棟間隔指数を0.53とした	0.5/0.8	3.0

注)重点項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高の合計に対する貢献度を示した点数。

重点項目への貢献点の平均点 **3.1**

ライフサイクルCO2評価対象項目についての環境配慮概要		実績スコア合計/ 最高のスコア合計	ライフサイクル CO2評価対象 項目への 貢献点 注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
<b>建設段階</b>			
Q-2 ■ サービス性能対策 2 2.2 2.2.1 躯体材料の耐用年数		0.1/0.1	3.0
<b>修繕・更新・解体段階</b>			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 2 2.2 既存建築躯体等の継続利用 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		0.8/1.3	3.0
<b>運用時のエネルギー</b>			
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物外皮の熱負荷抑制 2 自然エネルギーの利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	エコジョーズを採用	3.2/5.0	3.2

注)ライフサイクルCO2評価対象項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高の合計に対する貢献度を示した点数。

**CASBEE-川崎2017年版**  
**クレストプライムレジデンスパーク五番街**

欄に数値またはコメントを記入

21010

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目	重点項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	G	W	R	H		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>3.3</b>
<b>Q1 室内環境</b>							0.40		-	<b>3.6</b>
<b>1 音環境</b>						<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>
1.1 室内騒音レベル						<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50	
1.2 遮音						<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50	
1 開口部遮音性能					T2以上のサッシ使用	3.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能						3.0	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-	2.0	0.20	
1.3 吸音						3.0	-	3.0	-	
<b>2 温熱環境</b>						<b>3.0</b>	0.35	<b>4.0</b>	1.00	<b>3.9</b>
2.1 室温制御						<b>3.0</b>	0.50	<b>4.0</b>	1.00	
1 室温						3.0	0.63	-	-	
2 外皮性能		W			日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当	3.0	0.38	4.0	1.00	
3 ゾーン別制御性						3.0	-	-	-	
2.2 湿度制御						<b>3.0</b>	0.20	-	-	
2.3 空調方式						3.0	0.30	-	-	
<b>3 光・視環境</b>						<b>3.0</b>	0.25	<b>3.8</b>	1.00	<b>3.7</b>
3.1 昼光利用						<b>4.2</b>	0.30	<b>4.6</b>	0.50	
1 昼光率					住戸9.6% 共用6.8パーセントとした	5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口						-	-	5.0	0.30	
3 昼光利用設備		W				3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策						<b>2.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50	
1 昼光制御		W				2.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度						<b>3.0</b>	0.15	-	-	
3.4 照明制御						<b>3.0</b>	0.25	-	-	
<b>4 空気質環境</b>						<b>3.6</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00	<b>3.6</b>
4.1 発生源対策						<b>4.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.63	
1 化学汚染物質					F☆☆☆☆を使用	4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気						<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能						3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理						-	-	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視						3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御						3.0	-	-	-	

Q2 サービス性能					—	0.30	-	-	3.2
1 機能性					3.0	0.40	4.0	1.00	3.9
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40	5.0	0.60	
1	広さ・収納性				3.0	-	3.0	-	
2	高度情報通信設備対応				3.0	-	5.0	1.00	
3	バリアフリー計画				3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性					3.0	0.30	2.5	0.40	
1	広さ感・景観				3.0	-	4.0	0.50	
2	リフレッシュスペース				-	-	-	-	
3	内装計画				3.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理					3.0	0.30	-	-	
1	維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-	
2	維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性					2.7	0.30	-	-	2.7
2.1 耐震・免震・制震・制振					3.0	0.50	-	-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-	
2	免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					2.7	0.30	-	-	
1	躯体材料の耐用年数		R		3.0	0.20	-	-	
2	外壁仕上材の補修必要間隔		R		2.0	0.20	-	-	
3	主要内装仕上材の更新必要間隔		R		2.0	0.10	-	-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔		R		3.0	0.10	-	-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔		R		3.0	0.20	-	-	
6	主要設備機器の更新必要間隔		R		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性					2.2	0.20	-	-	
1	空調・換気設備				3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備				2.0	0.20	-	-	
3	電気設備				1.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備				2.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性					3.0	0.30	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり					-	-	2.6	0.50	
1	階高のゆとり				3.0	-	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ				3.0	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性					3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					—	0.30	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出					G	W		H	3.0
2 まちなみ・景観への配慮					G				3.0
3 地域性・アメニティへの配慮									3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上									3.0
3.2 敷地内温熱環境の向上					G	W		H	4.0

LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	3.0
LR1 エネルギー					0.40	-	-	3.2
1 建物外皮の熱負荷抑制	W		H	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当	4.0	0.20	-	4.0
2 自然エネルギー利用	W		H		3.0	0.10	-	3.0
3 設備システムの高効率化	W		H	[BEI][BEIm] = 1.00	3.0	0.50	-	3.0
4 効率的運用					3.0	0.20	-	3.0
集合住宅以外の評価					-	-	-	
4.1 モニタリング	W		H		3.0	-	-	
4.2 運用管理体制	W		H		3.0	-	-	
集合住宅の評価					3.0	1.00	-	
4.1 モニタリング	W		H		3.0	0.50	-	
4.2 運用管理体制	W		H		3.0	0.50	-	
LR2 資源・マテリアル					0.30	-	-	2.8
1 水資源保護	W	R			2.2	0.20	-	2.2
1.1 節水					1.0	0.40	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60	-	
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	1.00	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減					2.8	0.60	-	2.8
2.1 材料使用量の削減	W	R			2.0	0.11	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	W	R			3.0	0.22	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	W	R			3.0	0.22	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	W	R			1.0	0.22	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	W	R			-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	W	R		LGS工法を採用し、躯体と仕上りの分離を容易にした	5.0	0.22	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.3	0.20	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用				壁紙用接着剤	4.0	0.30	-	
3.2 フロン・ハロンの回避					3.0	0.70	-	
1 消火剤	W				-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	W				3.0	0.50	-	
3 冷媒	W				3.0	0.50	-	
LR3 敷地外環境					0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮	W				3.0	0.33	-	3.0
2 地域環境への配慮					3.1	0.33	-	3.1
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善	G	W			3.0	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.7	0.25	-	
1 雨水排水負荷低減		R			3.0	0.25	-	
2 汚水処理負荷抑制		R			3.0	0.25	-	
3 交通負荷抑制		R			5.0	0.25	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		R			4.0	0.25	-	
3 周辺環境への配慮					2.8	0.33	-	2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40	-	
1 騒音					3.0	1.00	-	
2 振動					-	-	-	
3 悪臭					-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制					3.0	0.40	-	
1 風害の抑制					3.0	0.70	-	
2 砂塵の抑制					3.0	-	-	
3 日照阻害の抑制					3.0	0.30	-	
3.3 光害の抑制					2.3	0.20	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					2.0	0.70	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30	-	

21010

## クレストプライムレジデンスパーク五番街

このマンションは分譲住宅環境性能表示の届出を行っています。

建築主は分譲共同住宅環境性能表示を販売広告に掲載した日から15日以内に届け出る  
ことになっており、これにより公表しています。



この表示は川崎市の定めた基準に従って、建築主が自らの計画を評価した内容に  
基づいています。